

「鹿児島線(北九州・福岡間)鉄道貨物輸送力増強事業」起工式の開催

平成20年1月16日

国土交通省の幹線鉄道等活性化事業として平成19年度から事業化され、鹿児島線の北九州貨物ターミナル駅・福岡貨物ターミナル駅間において26両編成(1300トンけん引)のコンテナ列車の走行を可能にすることで、需要の旺盛な関東・九州間での輸送力増強を実現するものです。

関東・九州間の長編成貨物列車の走行可能化については、東海道線は平成10年、山陽線は平成19年3月に実現しており、本事業が完成しますと、東京貨物ターミナル駅から福岡貨物ターミナル駅まで26両編成のコンテナ列車が乗り入れ可能となります。この区間は、鉄道コンテナ輸送の需要が強勢であるとともに、近年は東アジアと日本を結ぶ物流ルートとしても脚光を浴びてきております。

本事業が完成した後は、環境負荷の最も少ない輸送モードである鉄道貨物輸送がその特性を最も発揮できる長距離帯において、より多くのお客様に鉄道をご利用いただくことが可能となり、モーダルシフトが促進されます。

つきましては、下記により起工式を行います。

1. 日時 平成20年1月25日(金) 11時30分から
2. 場所 北九州貨物ターミナル駅構内
「住所」北九州市門司区大里新町11-3
3. 主催 北九州貨物鉄道施設保有株式会社、JR貨物

(参考)事業概要

- (1)工事区間 鹿児島線北九州貨物ターミナル駅～福岡貨物ターミナル駅間
(67.6km)
- (2)工事内容 待避線、着発線延伸、コンテナホーム(福岡タ)等の工事
- (3)事業効果 鉄道コンテナ輸送力の増強 約17万トン/年
- (4)モーダルシフトによる環境負荷の改善
CO₂の排出削減量 約3.2万トン/年
NO_xの排出削減量 約27トン/年
- (5)事業費 25億円(補助率30%以内)
- (6)完成予定 平成22年度(参考 九州新幹線 博多開業と同時期予定)
- (7)事業主体 北九州貨物鉄道施設保有株式会社(第3セクター)

鹿児島線(北九州・福岡間)鉄道貨物輸送力増強事業実施区間



玄界灘

鹿児島線

福岡

福岡駅待避線延伸
(1300ト列車停車可能化)

西戸崎

千早(操)

福岡貨物ターミナル

香椎

香椎線

吉塚

長者原

博多

南福岡

鹿児島方

篠栗線

桂川方

宇美

福岡貨物ターミナル駅改良
(1300ト列車取扱可能化)

原田方

筑豊線

折尾

陣原

黒崎

直方

若松

浜小倉

東小倉

西小倉

小倉

北九州貨物ターミナル

北九州貨物ターミナル駅
(着発荷役線延伸等)

日豊線

小波瀬西工大前

苅田港

延岡方

周防灘

凡例

- : 貨物駅または客貨駅
- : 旅客駅

山陽線

下関

門司(旅)

門司港

外浜

国・自治体の御支援を受けて行ってきた 鉄道貨物輸送力増強事業(幹線編)

コンテナ列車26両(1,300トン)けん引化を実現

鹿児島線(北九州・福岡間)
鉄道貨物輸送力増強事業
(平成19~22年度予定)

山陽線鉄道貨物
輸送力増強事業
(平成14~18年度)

東海道線鉄道貨物
輸送力増強事業
(平成5~9年度)



門司貨物拠点整備事業
北九州貨物ターミナル駅新設
(平成11~14年度)